



# 今年度東京同窓会総会のご案内 10月8日(金)

※日 時 平成11年10月8日(金曜日)  
 午後5時30分から 受付開始  
 午後6時00分より 総会  
 午後6時30分より 懇親会～ 8時40分頃閉会の予定

※会 場 学 士 会 館  
 東京都千代田区神田錦町3-28  
 電話03-3292-5931  
 (地下鉄「神保町駅」下車徒歩1分)

※会 費 男性会員 7,000円  
 女性会員 5,000円  
 同伴家族 4,000円  
 学 生 2,000円

当日会場受付にご持参下さい

尚、年会費未納の方は当日会費と合わせて受付します。(年会費3,000円)

(※ただし、旧制の方は年会費は不要です)

出欠の有無につきましては同封の返信用葉書に記載の上、9月20日頃迄にご返送下さる様お願い致します。返信用葉書は切手を貼らずにお出し下さい。



能代高校長に就任した

清野 宏隆さん (58)



「進路指導に力を入れていたのが、能代は常にライバルと最も長

昭和三十八年の花輪を皮切りに大館南、大館鳳鳴など北秋地区の高校の教壇に立った。中でも大館鳳鳴では十四年と最も長

「生徒の個性を生かして育てていく」と。本校は進学校として地域の期待が高い。その期待に応えられるよう、進学の面を一層伸ばしていか

果全体や日本の高校教育を見る目がついたと思う。三年間教壇を離れた経験はその後の教員生活に大いにプラスになつて振り返る。

生徒は育つ、そのための環境づくりを

その後、県教育庁高校教育課の指導主事、課長補佐などを務めた。「全県の学校を訪問し、視野が広がった。教員は自分の学校をもっと物事を考えることが多いので、広く

《せいひの・ひろたか》山本町出身。昭和38年新潟大学人文学部卒。花輪、大館南、大館鳳鳴で教壇に立ったあと、県教育庁高校教育課指導主事、同主任指導主事、同課長補佐を経て能代高教頭、大館高校長を歴任。自宅は大館市だが、現在は能代市松美町の首舎で一人暮らし。

趣味は「温泉に入ること」をひびくこと。監督を務めていた関係で続けた。フットニスも趣味だが、最近はその時間がなくなった。温泉に入る機会も、フットニスをやる機会もほとんどないという。今は母校の校長という責任感を感しながら、これからの学校経営に静かに意気込みを燃やして行きたい。

と努力したい。また本校の特色である文同道を生かして、部活も実績を残すよう力を入れていきたい。私も生徒と距離があかないように励まし、勉強の面でも、部活動の面でも励ましていきたい」と静かに意気込みを語る。

東北地区は中六、県南と比較されたとき、成績が悪く言われて久しいが、その分伸びる力や可能性は十分に秘めていると思う。良友を伸ばそうとする生徒たちの努力が、教職員の間にもある。生徒は育つのもひびく。そのための環境づくりが教職員の使命。能代高の動きは常に地域の注目を浴びる。そのために精進してしまつたのは良友だが、生徒にはなやむべきものと伝えた。